



Rotary



勝浦ロータリークラブ週報
<http://www.katsuura-rc.org/>

2020-21年度 NO.38 TOTAL 2667 令和2年 5月 21日

★国際ロータリー RI会長 ホルガー・クナーク

国際ロータリー第2790地区

★ガバナー 漆原摂子

★第6グループガバナー補佐 三橋美子

地区委員

★地区幹事長 吉田理愛

★青少年交換 三上直哉

★ローターアクト 溝口次郎

勝浦ロータリークラブ

★会長 渡邊昌俊

★幹事 三上直哉

★SAA 磯野武

編集 クラブ会報委員会

★吉野昌和

★関裕仁

★岩瀬洋男

月刊テーマ 【 青少年奉仕月間 】

会長挨拶



雨の日が続いておりますが、先日は地区大会記念ゴルフ大会が強風だったものの何とか雨も降らずに開催する事ができました。

前日より多くの皆様のご協力をいただき、当日も大きな事故もなく無事開催された事は、まさに勝浦ロータリークラブのチームワークがあったからこそだと思っております。

特に、中村吉政くんにおかれましては、細部にまで気を遣っていただき、本当にありがとうございました。

さて、本日はクラブ協議会となります。次年度理事の皆様、発表宜しくお願い致します。

なお、来週は休会となります。

本日の例会も宜しくお願い致します。

幹事報告

1) 現在のコロナ禍を鑑み通常例会はしばらくの間、オンライン併用にて行います。本日FAXにて案内しましたがZOOMのIDは固定、パスコードは例会時の日程になります。例えば2021年5月21日の場合20210521です。必ず8桁なので間違えないようお願いします。

2) 19日に中村満君、中村吉政君、西崎和治君、三上直哉君で東急ハーヴェストに預かって頂いておりました当クラブの備品、資料などを片付けに行きました。次年度7月からは正式に当クラブの例会場はホテルブルーベリーヒル勝浦になります。

委員会報告

青少年奉仕委員会 千葉正徳君

本日の例会で卓話という話がありましたが時間的に厳しいので関委員長と佐久間委員長の思いを活字にしてありますので次回の週報に記載させていただきます。内容は若い会員の思いが伝わっています。

ガバナーよりご案内 漆原摂子君

今年度は日本に最初のロータリーが出来て100年目の節目の年になります。当初は各地区よりガバナーが集まり100周年を祝う会を予定していたのですがコロナ禍の為、誰でも参加出来るオンライン方式で開催される事になりました。5月25日(火)13時半から受付開始です。盛りだくさんの内容になっておりますのでお時間のある方のご視聴下さい。

親睦活動委員会 西崎和治君

明日の野球ですがいすみ市から睦沢の総合運動公園野球場に変更になりましたので応援に来られる方は連絡を下さい。

6月18日の夜間例会、白井ロータリークラブとのゴルフ交流会の案内をFAXで送っていますが口頭でも構いませんのでお知らせ下さい。

本日のプログラム

奉仕プロジェクト統括委員会 次年度 担当理事 牧野利美君

【職業奉仕委員会】

ロータリーの職業奉仕そのものを正しく認識し日常の仕事や生活を通じあらゆる活動にロータリアンとして、すべての活動に対し職業奉仕理念を根底に置くことが大切であります。したがって当委員会は奉仕プロジェクト統括委員会より独立した委員会の位置づけとしました。

【社会奉仕委員会】

各クラブが行っている地域社会に向けた奉仕活動の実態を調査し地区内のクラブにその情報を発信してください。あるいは活動のニーズを洗い出しそれらに対して適切なアドバイスをお願いします。さらにはロータリー財団の補助金事業について申請の上がったDG(地区補助金事業)の内容を精査し適切な判断と具体的な支援、指導を行いロータリー財団委員会との連携を図るようお願いいたします。

【国際奉仕委員会】

現在、国際奉仕活動を行っていないクラブに対して国際奉仕活動の必要性を理解していただく啓蒙活動を始め、既に行っているクラブに対してはその事例を調査し地区内の各クラブへ伝達を図って頂きたいと思えます。

更にはVIT(職業研修チーム)についても海外で取り組んでいる事業等を調査し地区内のクラブがその活動にチャレンジできるように情報の収集をお願いします。また、ロータリー財団グローバル補助金事業についてその奉仕活動の内容がより効果的であるものになるように、申請に関するサポートをロータリー財団委員会と連携を図りながら、その支援をお願いします。

ロータリー財団グローバル補助金委員会とも連携をお願いした事項ではありますが特に今年度から国際ロータリーが取り組む重点分野は『環境』が新たな項目に加われました。今までの国際奉仕活動に加え地球環境の保全に関する情報の提供をお願いします。

青少年奉仕統括委員会 次年度 担当理事 磯野典正君

本委員会は青少年奉仕プログラム及び青少年を中心とした地区学友会委員会を統括する委員会です。また青少年奉仕・地区学友委員会には東日本大震災で震災遺児になった青少年に対して設立されたロータリー希望の風奨学会の支援も含め、どう震災から10年が経過しました。本事業の完結まであと12～3年を要します。それらを含め総合的な青少年奉仕プロジェクトを進めて参ります。

【ローターアクト委員会】

ローターアクトクラブが国際ロータリーの亀井クラブになって2年が経過します。2021年度からロータリー財団の補助金を申請することも可能となります。ローターアクトクラブは当地区内に6クラブありスポンサーロータリークラブがその活動を支援しています。RIの加盟クラブとしての権利と正義を正しく理解したローターアクトクラブの支援をしていきたいと思えます。

【青少年交換委員会】

毎年行っている短期・長期交換留学生の発掘、渡航支援や留学生推薦校に対する支援等従来の活動は継続的に行ってください。今年度はコロナ禍により交換留学ができないと言う事ですが地区委員会としてROTEXなどと協力し現在抱えている課題や改善点を協議する等、今の地区における青少年交換のあり方を再考する機会として頂きたい。

【RYLA委員会】

RYLAは青少年指導者育成プログラムを実施しロータリーが地域の青少年育成を目標にロータリアン及び、それらに関わる関係者も一緒になって取り組むプログラムです。当地区は長年コマ地図を使用した歩行ラリー形式の実践参加型のプログラムを展開しており、毎年参加者からは大きな評価を受けています。本年はコロナ禍の為に中止となってしまいましたが次年度は多くの参加者を一同に介することが困難と考えるために開催形態をいちど見直すことも委員会の検討課題としていただきたいと思います。青少年指導者育成プログラムは歩行ラリー以外にも考えられる方法をお願いしたいと思えます。

【青少年奉仕・地区学友会委員会(ロータリー希望の風含む)】

ROTEX、RYLA経験者、ローターアクト、及び財団奨学生学友、米山奨学会学友との連携を図るための取りまとめを担う委員会としての位置づけです。具体的にはロータリーのプログラムを経験した青少年を中心に地域社会に向けた奉仕活動を展開すると共に各セッションの青少年関係の事業に対して違いの協力を図ることを目的とします。尚、ロータリー希望の風奨学会に対する支援活動、支援事業も本委員会が行って頂きたいと思えます。

米山記念奨学委員会 次年度 担当理事 中村満君

地区のスローガンである「繋ごう次世代へ夢ある未来へ向けて」に沿って行きたいと思えます。米山記念奨学委員会の方の寄付は1万5千円以上です。内容は日本に奨学生が約890人くらいいます。年間、経費を入れて一人に約140万円くらいかかります。会員が8万7千人～8千人ですので1万5千円になってしまいます。皆さん宜しくお願いします。ロータリーの会費から4千円が出るので1万2千円を上期下期で集めさせていただきます。ご協力をお願いします。

ロータリー財団統括委員会 次年度 担当理事 齋藤麻美子君

本委員会は財団資金管理、補助金プロジェクト、ポリオプラス及びロータリーカード、ロータリー平和フェロシップ委員会を統括しています。

【財団資金管理・寄付推進委員会】

地区内のロータリアン一人当たりの寄付(支援)推奨金は1人\$150/年をお願いしております。

グローバル補助金プロジェクト委員会

今年度から国際ロータリーが取り組む重点分野は『環境』が新たに申請項目に加わり更には女子のエンパワーメントに関しての母子の健康や識字率の向上といった、女子が自立できる機会を与えられるようなプロジェクトに関しての課題にも着目し情報の提供に努めてほしいと思います。

【地区補助金プロジェクト委員会】

地区補助金プロジェクトは身近なエリアで行える事業に充てて頂きたい補助金であり特に本年度は"ロータリー奉仕デー"の取り組みを強化していくことから単独のクラブ単位にとどまらずロータリーアクトやインターアクトとの連携や一般の市民団体等の参加も視野に入れることを推進して頂きたいと思います。

【ロータリーポリオプラス委員会(ロータリーカード兼務)】

昨年8月にアフリカでポリオフリーが宣言されロータリーが第一に取り組んでいるポリオ根絶への道は少しずつゴールへ近づいておりますが残る2カ国(アフガニスタン、パキスタン)からもポリオフリーを宣言させ地球上からポリオ根絶させるためポリオワクチン投与のために年間1人30ドルの寄付(支援)とそれ以上の支援協力を求めて頂きたい。それに付随しロータリーカードの利用額に応じたポリオ寄付にも働きかけをお願いします。

【平和フェロシップ委員会】

世界の平和を目指し紛争解決等を専門分野として研究し、そのNGO等の国際協力期間で働く平和フェローは私たちロータリアンにとって大きな力になる学生です。日本人で平和フェローに対して興味を持ちチャレンジしてみたいと言う意識の高い研究生候補者の発掘して下さい。

地区戦略計画委員会 次年度 担当理事 吉田理愛君

地区の戦略計画委員会はクラブの戦略計画委員会とは違うものなので地区協議会での報告ではなく地区の戦略計画委員会の説明をさせて頂きます。構成がガバナーとエレクト、ノミニ、パストで成り立っています。役割は色々な問題、意見を検討します。ガバナーが暴走することを押さえたり、ガバナー1人に責任を負わせないようになっています。冊子から次年度の予定は継続してグループ再編に関して公平になるようなメンバーで協議していきます。

ニコニコBOX



本人誕生日 三上直哉君

45歳になります。これからもロータリー活動を頑張っていきたいと思えます。宜しくお願いします。



本人誕生日 渡邊昌俊君

54回目の誕生日を迎える事になります。実は風が吹くと痛いものになっておりまして今回はかかとうに出ました。明日、野球の試合なので今日中に治しま



配偶者誕生日 久我守正君

今日は6時から会議があり、行ってもいいか聞いたら「いいよ」と言ったので何もやりません。以前iPadを買ったらクリスマスプレゼントという事で撮られたので誕生日プレゼントはしばらくいらなからと思います。



結婚記念日 神村彰男君
 53回目になりました。いつの間にかこんなに経ったという感じです。去年、一昨年と計画をたてましたが、こんな状態なので来年以降に持ち越しです。



配偶者誕生日 齋藤麻美子君
 5月22日で67歳になります。コロナ禍で二人で家にいる事が多く喧嘩も増えておりますがこれから可愛いおじいちゃんになって長生きしてもらいたいです。



結婚記念日 西尾誠君
 3週間ぶりに出席して皆さんの顔を見ると何か嬉しいです。結婚して55年になると思いますがたいした話もしませんが病気の話をして過ごしています。私も痛風になって40年くらいになります。薬が一番効くのですが食べ物も気を付けないといけません。多分、一生薬を飲んで行くと思います。



フリー 中村昇君
 地区記念ゴルフ大会成功という事で嬉しく思っています。当日はすごい風でしたが欠席者もなくプレーが出来まして勝浦の名が売れたのかなと思っています。



フリー 内村愛君
 5月30日に舞台の上演を開催します。コロナ禍ではありますが席数を半分にしてキュステで16時開演です。まだチケットの方がありますので見に来て頂ければと思います。



フリー 鈴木覺三郎君
 今日は出席者が少なくニコニコをしても目立たない残念です。私には子供が3人、孫が6人、ひ孫が4人いて明日、孫の一人が結婚式を挙げますのでひ孫がいずれ出来ると思っています。お爺さんになるとお金をせがまれるだけでコロナ禍もありお金だけ送りました。幸せな事でロータリーに入って47年目で87歳になります。私は1934年生まれで結婚式は昭和34年で34という数字には縁があります。今後も末長く鈴木覺三郎を宜しくお願いします。



フリー 千葉正徳君
 地区の月信の副委員長を仰せつかり13回のZOOMでの委員会を行いました。関一憲君のリーダーシップ、中身の濃さ、段取りの良さを感じる事が出来ました。合わせて吉田理愛幹事長も語学力の高さ、ロータリーの中身の勉強の深さが素晴らしく私も大変勉強になりました。地区大会と記念ゴルフ大会の結果等を記載してありますので是非読んで下さい。



フリー 中村吉政君
 今年、野球部のキャプテン兼事務局をやる事になりました。選手名簿が出来上がり勝浦のメンバーも記載していますし他のチームのメンバーも記載されているので欲しい方は若干数ありますのでお申し下さい。他チームから勝浦は若いと言われますが平均年齢は決して若くはありませんが明日の初戦を突破したいと思います。

出席報告 会員数40名 出席者28名 出席免除対象者8名 メイキャップ10名 欠席12名 出席率 95.0%

次回例会

6月 4日 クラブ協議会
 6月 11日 クラブ協議会
 6月 18日 夜間例会
 6月 25日 休会

例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
例会場所 ホテル ブルーベリーヒル勝浦
勝浦市興津1920 TEL0470-76-3400
事務局 三上直哉 勝浦市新官1358
TEL0470-73-1396 FAX0470-73-0116

クラブ協議会資料 青少年交換委員会

私がロータリークラブに入会して4年目の2020-2021年度に青少年交換委員長を拝命させて頂きました。ロータリー青少年交換活動について全く無知であったのでまず長い歴史から調べてみました。

ロータリー青少年交換は、国際ロータリーにおける奉仕活動の一つで、高校生の交換留学を行っています。また交換留学制度を採っているこのプログラムは1929年にはじまり、現在では他国の文化を経験するためにコロナ禍で活動自粛になる以前は毎年約9000人もの生徒が世界中で留学していました。

1929年にはじまったこのプログラムは、フランスのニースロータリークラブが最初の交換留学を行い、その後1939年にアメリカ合衆国・南米間で開始され、1972年に国際ロータリー理事会で世界的な平和と理解を推進する価値ある国際的活動として正式に推奨されました。一般的に生徒は全く別の国・言語を経験するために一年間留学します。またホストとなる家族はその一年間で通常2～3回変わり、生徒はそれぞれの場合において学校などその国・家族で当たり前の日常生活を過ごすことが求められます。

またロータリーの交換学生は公の行事への参加時、原則としてロータリー青少年交換ブレザーの着用が義務付けられています。多くの地区がブレザーの色に濃紺を採用していますが、国によっては赤、青、緑など特色を出したのものもあるそうです。ロータリー交換学生の世界的な伝統の一つとして、派遣先や旅行先などでその場所に行ったということや他の国から来た交換学生たちとの友情の証として、ピンやバッジ、ワッペンなどを交換・購入しブレザーにつける。

私も勝浦ロータリークラブに入会してはじめて交換留学生を見たときにブレザーにつけられたたくさんのバッジやワッペンを見て驚いたことを思い出します。

この歴史あるロータリー青少年交換プログラムでできることは

- 1 母国から派遣され、海外で親善使節を務める
- 2 新しい生活に溶け込み、異文化を直接体験する。
- 3 留学国の人々だけでなく、ほかの国からの交換学生とも知り合いになり、生涯にわたる友情を築く。
- 4 外国の習慣や歴史について学ぶ。
- 5 世界観を広げ、自分自身と自国の文化について理解を深める。
- 6 経験から学んだことを生かして、リーダーシップを発揮できるようになる。
- 7 未永く心に残る思い出をつくる。

以上お話をいただいた7つの項目を経験し学ぶことで帰国後の交換留学生は世界市民としての自覚を養うことができるそうです。

私も勝浦ロータリークラブに入会し2790地区の地区大会や青少年交換委員長として地区の青少年交換委員会のオリエンテーションに参加させて頂きローテックスの活動で発言する帰国後の交換留学生を見て自分の同年代時と比較してなんと頼もしく意見を述べるのだらうと感心致しました。

このような青少年を育成するプログラムを有するロータリークラブの活動に感銘を受け今後の私の人生を勝浦ロータリークラブのメンバーとして誇りをもって奉仕の理念を実践していけたらと考えています。

クラブ協議会資料 青少年奉仕・青少年育成委員会

2020-2021年度の青少年奉仕・青少年育成委員会プロジェクトとして『地域の子供達がプロの音楽に触れ、音楽を通じて地域貢献や社会貢献できる人材を育成する』という目的のもと当初2020年11月29日事業開催予定としてプロジェクト準備して参りました。

昨今のコロナ禍において様々な活動に制限が出てきてしまい、その中で開催判断をするにあたり教育委員会や行政、学校、地域の方々からも勝浦ロータリークラブの活動に本当に様々な応援をいただきました。しかし、残念ながら2021年3月29日に延期するも開催断念となってしまいました。

本プロジェクトでは、勝浦市・御宿町内の小学生約250人とその家族と先生の総勢300人へ恩恵を与えるものでした。当地域はとても少子化が進んでいますし、都会と比べて多くの人と接する機会が少ないのが実態です。そこで、将来この地域を担っていく子供たちが、健やかに心豊かな人間へ成長して欲しい、そして、地域社会における繋がりをもつことができる機会を創出していきたくらい、今回のプロジェクトを計画しました。

更にロータリーメンバーのお力添えをいただき、会場設営・チラシの作成・アンケート実施・当日の受付・END POLIO NOWコーナーの設置チラシ配布・写真撮影・各小学校からの楽器搬送・駐車場係から片付けまでを行い更なる一致団結ができればと思っていました。また、プロでありボランティアにも力を入れているオーケストラ団体様も度重なる延期相談と中止の判断にも状況了承いただきました。誠に感謝申し上げます。

思い通りの活動ができない中でしたが、私が勝浦ロータリークラブに入会して2年目で委員長を拝命し、今まで気付かなかったことに気づき、学びを得ています。去年から今年にかけているんな大変革がおきています。この環境下で目に起きている様々な経験は絶対に意味があると思っています。今、子供たちも自分の視野を広げ、社会の変化に柔軟に対応できる心豊かな人間に育とうとしております。これは偶然というものでは無いと思っています。青少年奉仕・青少年育成とは活動の原点であり、今や活動そのものがチャンスを生む機会となるものだと感じます。今後とも勝浦ロータリークラブでの活動が自分自身の成長と共に青少年の明るい豊かな輝く未来の創出に繋がっていくことを確信しながら活動に邁進して参ります。